

令和4年度 一関第一高等学校・附属中学校 教職員働き方改革アクションプラン

～関高が「Re-iwa」を目指す5つの「Re」～

一関第一高等学校・附属中学校では、学校における働き方改革を推進し、生徒、保護者、地域などの期待に応える5つの「Re」を目指します。

Revolution

改革し続ける学校

Refine

高いレベルの教育を
提供する学校

Reflect

周囲の意見を反映する学校

Response

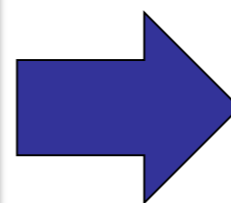
反応が早い学校

Respect

尊敬し、尊敬される学校

1 現 状（令和3年度）

- (1) 時間外在校等時間が月100時間以上の教職員は全体の0%
- (2) 時間外在校等時間が月80時間以上の教職員は全体の5.6%(4.6人/1ヶ月)
- (3) 時間外在校等時間が月45時間以上の教職員は全体の29.9%(24.5人/1ヶ月)
- (4) 時間外在校等時間が年360時間以上の教職員は全体の54.6%(45人/1年)
※週休日の部活動従事時間を含む。



2 目指す姿（令和4年度）

- (1) 現状維持
- (2) 時間外在校等時間が月80時間以上の教職員は全体の0.8%(約0.7人/1ヶ月)
- (3) 時間外在校等時間が月45時間以上の教職員は全体の7.2%(約6人/1ヶ月)
- (4) 時間外在校等時間が年360時間以上の教職員は全体の12.8%(約10.6人/1年)
※週休日の部活動従事時間を含む。

3 取組内容

(1) 管理職員の適切なマネジメント

- ・タイムカード等の活用により客観的に勤務時間を把握し、勤務時間を意識した働き方を推進するとともに、勤務時間の適正化を図ります。
- ・会議の簡素化や各校務分掌内の業務の見直しに取り組みます。
- ・学校行事や業務のスクラップアンドビルドに取り組みます。
- ・管理職に相談しやすい風通しの良い職場、気兼ねなく年次有給休暇や振替等の取得ができる職場づくりを進めます。

(2) 教職員の業務改善の推進

- ・週1日以上(中学校は2日以上)の部活動休養日を徹底しながら、年間平均で週2日以上(年間100日)の休養日を設定します。
- ・部活動等において時間外勤務をした際には積極的に振替休日を取得します。
- ・週1回以上の定時退庁日を設定して、業務に取り組みます。
- ・ICT機器の積極的な活用を図り、業務の効率化を進めます。

(3) 教職員の健康管理等

- ・ワーク・ライフ・バランスを確保しながら、健康でいきいきとやりがいをもって、生徒一人ひとりに向き合います。
- ・勤務時間外、余暇時間は、家庭生活を充実させる時間、あるいは自己啓発の時間として活用します。
- ・メンタルヘルスに関する相談等の情報を積極的に活用し、心身の不調の未然防止に努めます。

岩手県教職員働き方改革プラン(令和3年2月策定 県教委)

【プランの目的】

学校における働き方改革を実現することにより、岩手の未来を担う大切な子どもたちに、質の高い教育を持続的に提供することにつなげていきます。

【プランの期間】

令和3年～令和5年度までの3カ年度

【プランの目標】

県立学校の教員の時間外在校等時間の縮減
時間外在校等時間（週休日の部活動指導従事時間を除く）が月45時間超、
年360時間超の者を段階的に縮減する。

時間外在校時間

月45時間超
年360時間超

令和4年度

令和2年度実績
の8割減

令和5年度

ゼロ